

小学校社会科における資料読解のための ワークシートの開発

Development of Worksheets for Material Comprehension in Elementary School Social Studies

佐藤 正寿, 山田 智之*, 徳本 恭子*

SATO Masatoshi, YAMADA Tomoyuki, TOKUMOTO Kyoko

キーワード：資料読解, ワークシート, 問いや指示

Key words : Material Comprehension, Worksheet, Inquiring and Instruction

1. 研究の背景と目的

資料活用技能は社会科において重視されており、2017年告示の学習指導要領の小学校社会科の目標でも、「様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けること」が挙げられている⁽¹⁾。とりわけ、資料読解の指導は社会科授業において欠かせないものであり、澤井（2013）は、資料活用の技能を育てるために、資料を教師が事前に読み取り子どもに読み取らせるポイントを把握しておくことと、読み取り方をそのつど指導することが重要だと述べている⁽²⁾。社会科授業における資料読解に関わる先行研究として、吉田ほか（2010）は、グラフ資料の場合には表題・縦軸・横軸の確認および変化の原因を問う実践を行い、発問・指示を中心とした教師の発話の有効性を示した⁽³⁾。佐藤ほか（2018）は、教師の発話を目的別に分類化した研究は限定的であるとして、小学校5年生社会科のグラフ資料読解のための発話の調査・分析を行い、グラフの種類や特徴に応じて発話を類型化できることを示した。一方、学習者がグラフ資料を対象化し解釈するための発話あまり見られず、その必要性の啓発が課題とされた⁽⁴⁾。さらに佐藤ほか（2018）は、小学校教師を対象とし、絵画資料の読解技能に関わる意識および読解場面における教師の発話について調査を行い、結果を分析した。その結果、絵画資料の読解技能の重要性は理解しつつも、自らの指導方法や指導内容は不十分と考えている教師が多いことが確認された⁽⁵⁾。

これらの課題解決の方法として、本研究では、資料読解のためのワークシートの開発に取り組んだ。学習者が資料を読解するための視点をワークシート上に示すことで教師の発

東北学院大学

*株式会社教育同人社

話を促し、ワークシートに基づいた学習活動をする過程で、学習者が資料の読解技能を身につけることをねらいとした。ワークシートによる資料読解の先行研究として、村野(2008)による情報の読み取り、解釈、論述の力を育てることを意図した、独自資料を中心としたトレーニングシートの開発がある⁽⁶⁾。この先行研究を参考に、本研究では、小学校社会科教科書の資料を対象とした資料読解のためのワークシートを、資料読解の視点を記載する形で開発し、授業実践により検証した。

2. 方法

(1) 対象資料の選定

小学校第5学年では、授業においてグラフ、写真、図、表、地図といった各種の資料を扱う機会が多くなる。特に、グラフ資料の扱いが増えるため、学習者がグラフ資料を読解する技能を身につけることは、学習内容を理解するために不可欠である。同様に第6学年では歴史学習における絵図資料や地図資料の扱いが増え、それらを読解するための技能が必要となる。

以上の理由により、小学校第5学年および第6学年の社会科教科書（教育出版・平成27年度版）に掲載されている資料を、本研究の対象とした。その中から、他社の社会科教科書にも掲載されている内容が同一の資料を抽出し、さらに一単位時間において、中心的に活用される資料（中心資料）を各学年で10点、合計20点を、ワークシートで扱う対象資料として選定した。

(2) 読解の視点と問い

佐藤ほか(2018)は、グラフ資料の読解場面における発話を5種類に分類した⁽⁴⁾。それをもとに、本研究ではワークシート開発にあたり、資料読解のための視点を「資料の基本項目を確認する視点」「資料の全体を読み取らせる視点」「資料の特徴を分析させる視点」「資料を解釈させる視点」「資料を総合的に読み取らせる視点」の5つに設定し、その視点か

表1 資料読解のための視点およびワークシートに記載する問いの例

資料読解のための視点	ワークシートに記載する問いや指示の例
資料の基本項目を確認する視点	・何の資料か ・各項目は何を表しているか
資料の全体を読み取らせる視点	・全体的にどのようなになっているか
資料の特徴を分析させる視点	・大きく変わっているところや特色があるところはどこか
資料を解釈させる視点	・なぜそうなっているのか
資料を総合的に読み取らせる視点	・資料からどんなことがいえるか

- ・資料読解のための基本的な視点と読解のために重要な視点を【基本】と【ポイント】として示し、学習者が読解のための視点を自ら学ぶことができるようにする。
- ・「まとめ」は基本的には学習者自身が理解した内容を書くようにするが、見方・考え方の育成を意図して、必要に応じて自分の考えを書く部分も準備する。

3. 結果

(1) 開発したワークシートの種類と内容

第5学年、第6学年とも各10本のワークシートを開発した。対象とした資料は、第5学年ではグラフ資料が6点、地図資料、写真資料、新聞資料、絵図資料が各1点だった(表2)。第6学年では、絵図資料が7点、地図資料が3点だった(表3)。

2(2)で示した資料読解のための視点のうち、1の基本項目を確認する視点に関わる問いや指示(例「縦軸、横軸は何を表しているか。」)については、全てのワークシートに記載した。2～5の視点については、資料の特徴に応じて適切な問いや指示を選択し、ワー

表2 開発したワークシートで扱った内容および対象とした資料(第5学年)

	小単元名・テーマ	教科書ページ	種類
1	日本の地形と気候 地域によってちがう気候	上 P 18-19	グラフ資料
2	食料生産を支える人々	上 P 52-55	地図資料
3	米づくりのさかんな地域 今井さんの心配	上 P 68-69	グラフ資料
4	水産業のさかんな地域 世界の中の日本の漁業	上 P 82-83	グラフ資料
5	これからの食料生産 豊かな食生活のうらで	上 P 98-99	グラフ資料
6	自動車づくりにはげむ人々 自動車工場のひみつ	上 P 114-115	写真資料
7	工業の今と未来 日本の工業を支える中小工場	上 P 146-147	グラフ資料
8	情報を伝える人々 マスメディアの情報を受け取るわたしたち	下 P 10-11	新聞資料
9	情報を生かすわたしたち 身のまわりにあふれる情報	下 P 22-23	グラフ資料
10	森林を守る人々 森林のはたらき	下 P 34-35	絵図資料

表3 開発したワークシートで扱った内容および対象とした資料(第6学年)

	小単元名・テーマ	教科書ページ	種類
1	国づくりへのあゆみ 米づくりが始まる	上 P 14-15	絵図資料
2	大陸に学んだ国づくり 木簡からよみがえる人々の暮らし	上 P 26-27	地図資料
3	武士の政治が始まる 武士が現れる	上 P 38-39	絵図資料
4	武士の政治が始まる 元との戦い	上 P 44-45	絵図資料
5	全国統一への動き 戦国の世の中	上 P 54-55	絵図資料
6	幕府の政治と人々の暮らし 江戸幕府と大名	上 P 66-67	地図資料
7	新しい時代の幕開け 人々の暮らしが変わった	上 P 98-99	絵図資料
8	新しい時代の幕あけ 自由民権運動が広まる	上 P 100-101	絵図資料
9	近代国家に向けて 日清・日露の戦い	上 P 108-109	絵図資料
10	戦争と人々の暮らし アジア・太平洋に広がる戦争	上 P 122-123	地図資料

クシートに記載した。また、学年の最初に扱われる単元では読解の視点を丁寧に示したり、まとめの書き出しを提示したりしたが、徐々に力が身についていくことを想定し、後半部分は意図的に簡略化した。

(2) 授業実践の概要

開発したワークシートを活用した授業を、I小学校5年1組(25名)を対象に2019年7月10日に実施した。授業者はワークシートの開発者であり、使用したワークシートは「米づくりのさかんな地域 今井さんの心配」だった(図1)。扱う中心資料は「農業で働く人の数の変化」(棒グラフ)である。

授業では、本時の学習課題の確認の後、資料の「農業で働く人の数の変化」について、ワークシートの内容②に基づき基本的な項目である題、出典、縦軸、横軸を確認した。その際、各項目について形式的な確認に留まらず、題であれば農業の例や変化で考えること、出典であれば信頼できる機関の資料であることを授業者から説明した。

続いて、③「全体的にどのように変化しているか。」という項目に、ワークシートに学習者が書き込む形で取り組んだ。書き込んだ内容を学習者が発表する場面では、「10年ごとにどんどん減っている」「100万人減った」「3分の1に減った」などの、具体性のある発言を授業者が評価していった。

さらに④の「年代別の変化で読み取ったことは何か。」という項目に、一定時間読解の時間を確保した。年代別に読み取ることが難しい学習者も数名いたが、多くの学習者は何らかの形で記入をすることができた。書き込んだ内容を学習者が発表する場面では、「全体が少なくなっているが60才以上はあまり変化がない」「30～59才以下は変化が一番大きい」「29才以下はほとんどいなくなっている」など、資料を的確に読解している様子が伺えた。

「なぜ、そのようになったのか」と理由を問うと、「農家ではない人が増えた」「少子高齢化が進んでいるから」といった発言が出てきたため、その根拠を教科書から探させた。その結果、教科書の資料をもとに、「作付面積が少なくなっている」「米の生産量も消費量も減っている」「水田が少なくなっているのは生産量と消費量の減少と関係がありそうだ」「外国の米は値段が安いから、それを買う人もいる」等の発言が出てきた。学習者は、それらの内容を話し合いと並行してワークシートの⑥に書き込んでいった。

話し合いの後、⑦のまとめを学習者が各自で書き込んで授業を終えた。

(3) アンケート結果

授業後に、学習者に対してワークシートの使用感についてのアンケート調査を行った。「学習しやすかった点」と「学習しにくかった点」について項目を挙げさせ、その理由を自由記述させた。

学習しやすかった点については、25名中22名が何らかの回答を記述した。ワークシート②～④の読解項目について記述された回答としては、「ポイントやヒントが書いていてわかりやすい」「基本がわかる」といった読解の視点に関わるものや、「枠があって書きやすい」「ワークシートのグラフを見ながら書けるので書きやすい」等、ワークシートの特徴に関わるものが多かった。また、⑦のまとめの記述に関しては、「初めの言葉が書かれていて、続きが書きやすかった」というような書きやすさを記述した学習者が9名いた。

学習しにくかった点については、25名中1名が記述し、「説明の文をもっと書いてほしいかった」という内容だった。他の24名は「なし」という回答だった。

4. 考察

(1) 開発したワークシートについて

開発したワークシートの中心資料は、第5学年ではグラフ資料が10本中6本、第6学年では絵図資料が10本中7本と最も数が多かった。グラフ資料も絵図資料も、教科書において授業の中心資料となることが多く、その点では妥当な選択だったと考えられる。

読解の【基本】とした項目については、棒グラフと折れ線グラフの場合、「題」「出典」の他に、「縦軸・横軸の確認」といった共通内容が多く、読解の視点として定型化が可能と考える。そのため、ワークシートの使用を重ねることで学習者に読解の視点を定着させることが期待できる。一方、絵図資料や地図資料の場合、基本項目を共通化できず、その資料に応じた問いになることが多かったものの、「だれか」「どこか」「何をしているのか」というような問いが多い傾向にあった。よって、それらを傾向として把握しておくことにより、教師が指導する際の選択肢になると考える。

読解の【ポイント】とした項目については、変化を問うもの、気づきを問うもの、比較するもの、結果を問うもの等、授業における資料活用の意図によって様々な問いに分かれた。このことは教師が事前に中心資料の教材研究をする際の視点の参考になると考える。

(2) 授業実践から

本ワークシートは、授業の資料読解場面において学習者をナビゲートすることを意図した。学習者のアンケート結果より、学習者はワークシートの記述から資料読解の視点を学

ぶことが示唆された。すなわち、ワークシートに記載する問いと指示の内容は重要であり、開発の際に吟味が必要となる要素といえる。

また、アンケート結果より、「書きやすい」「見やすい」といったワークシートならではの取り組みやすさを活用のよさとして指摘した学習者が一定数おり、ワークシートを活用する効果が見られた。しかし、ワークシートの活用が1単位時間の授業中のすべての時間で行われるわけではないので、ノート活用との関連をどのように図っていくかが課題である。

5. まとめと今後の課題

本研究では、小学校社会科教科書の資料を対象とした資料読解のためのワークシートを20本開発し、うち1本について授業実践を行った。ワークシート開発の際、資料の種類や特徴に応じた読解の視点を、問いや指示として記載した。授業実践では、ワークシートの内容に基づいた学習活動をすることで、資料読解の視点を学習者が学ぶ様子が見られた。

今後は、開発者ではなく学級担任によるワークシートの活用と、効果の検証が課題である。そのために、ワークシートと併用して活用可能な教材を作成中である。それらの効果を検証し、ワークシートの改善および追加開発を行う予定である。

謝辞

本研究は株式会社教育同人社および教育出版株式会社との共同研究です。ご協力頂いた皆様に感謝致します。

参考文献

- (1) 文部科学省. 2017. 『小学校学習指導要領解説社会編』. p. 18.
- (2) 澤井陽介. 2013. 『小学校社会授業を変える5つのフォーカス』. p. 71. 図書文化
- (3) 吉田高志, 東京グループ. 2010. 『グラフや統計資料の読み取りの授業』. 明治図書
- (4) 佐藤正寿, 堀田龍也. 2018. 小学校5年生社会のグラフ資料の読解における教師の発話に関する考察. 日本社会科教育学会全国大会発表論文集第14号. pp. 220-221
- (5) 佐藤正寿, 山田智之. 2018. 小学校6年生社会科における絵画資料の読解に対する教師の意識と絵画資料読解場面における発話に関する考察. 東北学院大学教育学論集第1号. pp. 35-41
- (6) 村野聡. 2008. 『〈PISA型読解力を鍛える〉社会科「資料読み取り」トレーニングシート』. 明治図書